



I.S.P-300 Series

アップデートの手引き



1 目次

1	目次	2
2	はじめに	3
2.1	USB ドライバについて	3
2.2	I.S.P-300 のサポート終了について	3
3	ファイルの準備	3
3.1.1	V4.00 より前	4
3.1.2	V4.00～	4
4	ホストプログラムのアップデート	5
4.1	旧ホストプログラムのアンインストール	5
4.2	インストール	6
4.2.1	～V.2.40	6
4.2.2	V.2.41～5.42	6
4.2.3	V.5.42a～	6
5	本体のアップデート	7
5.1	UPDATEFILE フォルダの構成	7
5.1.1	V4.00 より前	7
5.1.2	V4.00～	7
5.2	本体アップデート手順	8
5.2.1	～V3.23	8
5.2.2	V4.xx	12
5.2.3	V5.00～	15
5.2.4	メモリチェック	16
6	改訂履歴	17

2 はじめに

2.1 USB ドライバについて

I.S.P-300 シリーズ V2.10 でホストプログラム・USB ドライバが新しくなりました。
ホストプログラムのインストール及び本体プログラムのアップデートの際は下記手順に従って行って下さい。

2.2 I.S.P-300 のサポート終了について

V5.00 以降のアップデートでは、I.S.P-300 のサポートをしておりません。I.S.P-310 のみサポートしております。
I.S.P-300 は、V4.xx までのアップデートでアップデートを行って下さい。

3 ファイルの準備

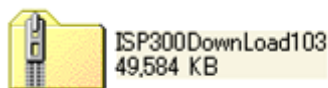
ダウンロードファイルは、zip 形式で圧縮しております。
Zip 形式のファイルを解凍できるアプリケーション（Lhaplus, +Lhaca 等）をご準備下さい。

弊社 HP よりアップデートファイルをダウンロードして下さい。

(URL <https://k-kyoei.jp/> : ダウンロードページよりダウンロードが可能です。)

ファイル名 : ISP300DownLoad***

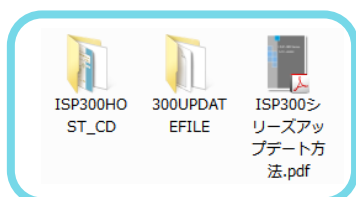
または
ISP310DownLoad***



(***はバージョン番号が入ります)

ダウンロードしたら、ファイルを解凍して下さい。

3.1.1 V4.00 より前



● 解凍したフォルダの内容

フォルダ名	フォルダ内容
ISP300HOST_CD	PC にインストールするホストプログラム (購入時に添付される CD-ROM と同様の内容です。)
UPDATEFILE	I.S.P-300 シリーズ本体を更新するためのアップデートファイル
ISP300 シリーズアップデート方法	このファイル

※アップデートファイルのパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常にアップデートできない場合があります。アップデートファイルは 2 バイトコードが含まれないパスに格納してください。



3.1.2 V4.00～

● 解凍したフォルダの内容

フォルダ名	フォルダ内容
ISP300HOST_CD	PC にインストールするホストプログラム (購入時に添付される CD-ROM と同様の内容です。)
ISP300 シリーズアップデート方法	このファイル

※インストールするパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常に本体のアップデートができない場合があります。2 バイトコードが含まれないパスにインストールしてください。

4 ホストプログラムのアップデート

お使いの PC に、I.S.P-300 シリーズを使用するための HOST プログラム、および I.S.P-300 シリーズ用のアップデーターをインストールします。インストール・またはアンインストール作業の前には、I.S.P-300 HOST プログラムが起動している場合 **必ず終了させて下さい**。

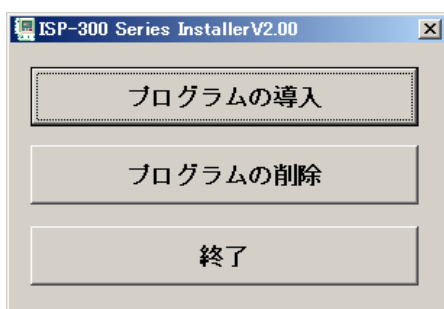
- ※ 本体のバージョンを V1.** から V2.10 以降にアップデートする場合は旧バージョンのホストプログラムをアンインストールする前に本体プログラムをアップデートして下さい。

4.1 旧ホストプログラムのアンインストール

V2.00～V2.03 までのホストプログラムをアンインストールします。*1

旧ホストプログラムがインストールされているフォルダにある “Setup_ISP300_v2.exe” を実行します。

プログラムを実行すると下記の様な画面が表示されます。

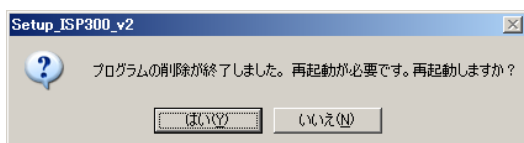


「プログラムの削除」ボタンを押してホストプログラムを削除します。*2

*1 I.S.P-300 シリーズを接続したままでプログラムのアンインストールは行わないで下さい。

*2 「プログラムの導入」ボタンが表示されない場合もありますがプログラムの削除は可能です。

削除が終了しますと再起動を要求するメッセージが表示されます。画面の指示に従って PC を再起動して下さい。



4.2 インストール

インストールの前に

インストールするPCに、既に同じメジャーバージョンのホストプログラムがインストールされている場合、予めアンインストールしてください。

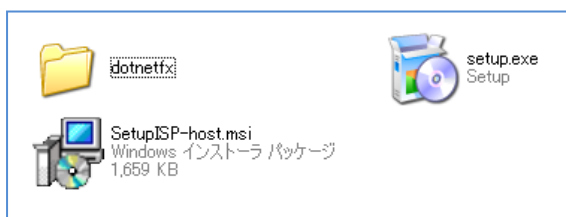
例として、V5.29 をインストールする場合、予め「ISP300Host_v5」をアンインストールしてください。

同じメジャーバージョンのホストプログラムがインストール済みの場合、正常にインストール出来ない場合があります。

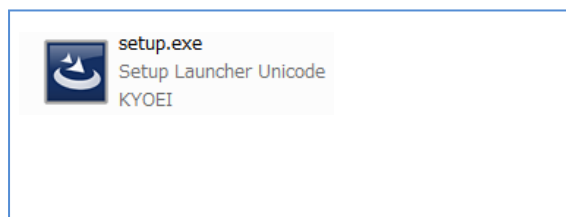
ISP300HOST_CD フォルダを開き、setup.exe をダブルクリックすると、セットアップ用プログラムが起動します。セットアッププログラムの画面の指示に従い、ホストプログラムをインストールして下さい。

インストールに必要なファイル群の例を以下に示します。

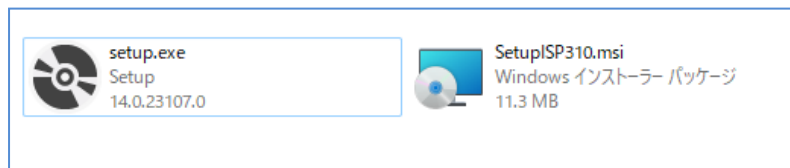
4.2.1 ~V.2.40



4.2.2 V.2.41~5.42



4.2.3 V.5.42a~



5 本体のアップデート

5.1 UPDATEFILE フォルダの構成

5.1.1 V4.00 より前

ファイル名	ファイル詳細
isp***.mot	ソフトウェア・アップデートファイル (***はバージョン番号が入ります)
REV****.rpd	ファームウェア・アップデートファイル (****はリビジョン番号が入ります) ※I.S.P-310 と I.S.P-300 ではファームウェア・アップデートファイルが異なるものになります。 お使いの本体に合わせてファイルを選択して下さい。 <i>I. S. P-310 : REV80**. rpd</i> <i>I. S. P-300 : REV00**. rpd</i>

5.1.2 V4.00～

UPDATEFILE フォルダはありません。

5.2 本体アップデート手順

5.2.1 ~V3.23

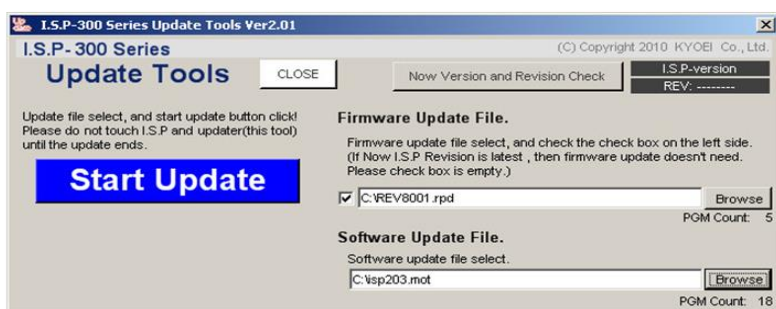
- I.S.P-300 又は I.S.P-310 と PC を接続

PC と I.S.P-300 又は I.S.P-310 を **USB-mini-B** ケーブルで接続し、I.S.P 本体の電源を ON します。

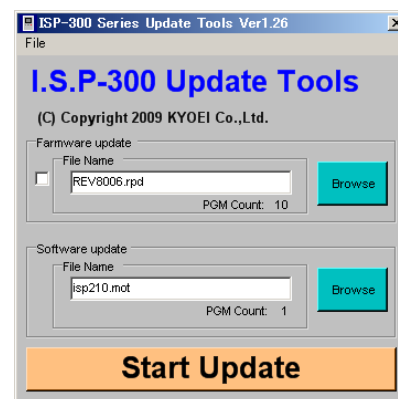
- アップデートプログラム起動

「スタート」→「プログラム」→「KYOEI」から「ISP3UPDT_ver2」を選択すると、version2.xx~用のアップデーターが起動します。

(V1.xx からのアップデートは Ver1.xx 用のアップデーターをご使用下さい。)



Version2.xx アップデーター



Version1.xx アップデーター

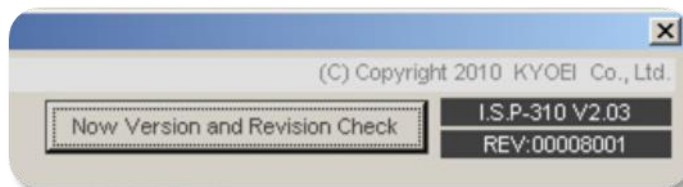
5.2.1.1 ファームウェア・アップデート準備

ファームウェアのバージョンが上がった時は、ファームウェアのアップデートが必要になります。

Now Version and Revision Check を押下して、現在のバージョンを確認して下さい。

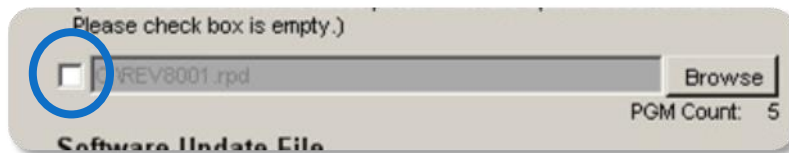
現在のバージョンとファームウェア用アップデートファイルのバージョンが一致している場合はファームウェアのアップデートは必要ありません。

○バージョンチェック



※バージョンチェックは本体のバージョンが v2.03 以降で対応しております。

ファームウェアのアップデートを行う場合は、左のチェックボックスにチェックを入れて下さい。
 チェックボックスにチェックがない場合は、ファームウェアのアップデートを行わず
 ソフトウェア・アップデートのみ行われます。



※アップデート前のファームウェアと最上位桁が対応するファームウェア・アップデートファイルをご利用ください。ファイル選択を誤った場合、I.S.P-300 シリーズからターゲット CPU への書込みが出来なくなる可能性があります。十分ご注意ください。

変更前のリビジョンと、変更可能なりビジョンの対応表を以下に示します。

		変更後リビジョン				
		最上位桁「0」 Ex. 0013	最上位桁「8」 8025 除く※1 Ex. 8023 ソフト：Legacy	最上位桁「A」 または 8025※1 Ex. A025 ソフト：最新	最上位桁「9」 9026 除く※2 Ex. 9023 ソフト：Legacy	最上位桁「B」 または 9026※2 Ex. B025 ソフト：最新
変更前リビジョン	最上位桁「0」 Ex. 0013	○	×	×	×	×
	最上位桁「8」 8025 除く※1 Ex. 8023 ソフト：Legacy	×	○	○	×	×
	最上位桁「A」 または 8025※1 Ex. A025 ソフト：最新	×	○	○	×	×
	最上位桁「9」 9026 除く※2 Ex. 9023 ソフト：Legacy	×	×	×	○	○
	最上位桁「B」 または 9026※2 Ex. B025 ソフト：最新	×	×	×	○	○

※1：例外的に、REV.8025 は「最上位桁：A」のグループに入ります。

※2：例外的に、REV.9026 は「最上位桁：B」のグループに入ります。

ソフトウェアの Legacy バージョンについては、「5.2.2.1 アップデート準備」をご参照ください。

ファームウェアのリビジョン番号の最上位桁は以下のルールで付与されています。

9 (10進数) = 1 0 0 1 (2進数)	
	1 / 0
	1 / 0
	0
	1 / 0
	: 本体シリアル番号 Ser. 38403179 以降用 / 本体シリアル番号 Ser. 38403178 まで用 (搭載液晶が異なるため、 こちらのビットは変更不可 です)
	: 最新版ソフトウェア用 / Legacy バージョンソフトウェア用 (Legacy バージョンについては、「5.2.2.1 アップデート準備」をご参照ください。)
	: 予約
	: I.S.P-310 用 / I.S.P-300 用 (搭載ハードが異なるため、 こちらのビットは変更不可 です)

※アップデートファイルのパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常にアップデートできない場合があります。アップデートファイルは 2 バイトコードが含まれないパスに格納してください。

5.2.1.2 ソフトウェア・アップデート準備

※V4.00 より前のアップデートでは、V5.00 以降の本体ソフトウェアへのアップデートをサポートしておりません。
V5.00 以降のソフトウェアにアップデートされたい場合は、V5.00 以降のアップデートをご利用ください。

「Browse」ボタンを押すとファイル選択画面になりますので、ソフトウェア・アップデートファイルを指定して下さい。

※ファームウェアが 9 あるいは B で始まるリビジョンの本体は、V3.24 より前のバージョンのソフトウェアに対応しておりません。アップデート前のファームウェア・バージョンによって、アップデート可能なファームウェア・バージョンが異なるので、「5.2.1.1 ファームウェア・アップデート準備」も併せてご参照ください。

ファームウェア	ソフトウェア
REV90xx (9026 除く)	V3.24x (Legacy)
REVB0xx (または 9026)	V4.xx

※アップデートファイルのパスに 2 バイトコードが含まれる場合に、正常にアップデートできない場合があります。アップデートファイルは 2 バイトコードが含まれないパスに格納してください。

5.2.1.3 I.S.P-300 シリーズ本体のアップデート開始

準備が完了したら「Start Update」ボタンを押してI.S.P 本体のアップデートを開始します。



アップデート中はUSBケーブルの抜き差しや本体の電源 OFF を絶対にしないでください。I.S.P 本体が起動しなくなる場合があります。もし本体が起動しなくなった時には弊社サポートまでご連絡下さい。 URL <https://k-kyoei.jp>

アップデート中画面



アップデートが終了すると、右図のようなウィンドウが表示されます。



これでI.S.P 本体のアップデートが完了致しました。本体の電源を再投入して下さい。

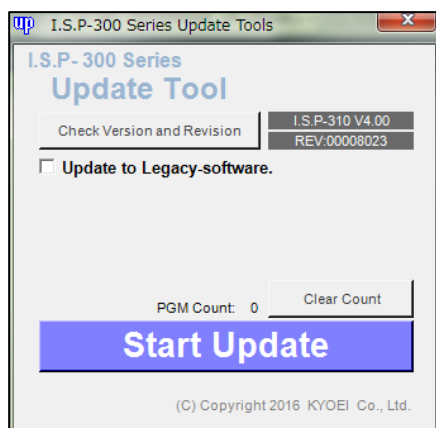
起動すると、最初の画面にアップデートしたバージョンでI.S.P-300(又はI.S.P-310) V*:**と表示されます。

注意：アップデート後は必ずメモリチェックを行ってください。

I.S.P 本体への転送が行えなくなる可能性(Flash Memory Error)があります。また、アップデートで機能追加をした場合、本体の設定が変更になる場合がありますので、アップデート後にメモリテストを行わない場合は、ホストプログラムから本体設定を再設定して下さい。

5.2.2 V4.xx

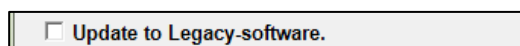
- I.S.P-300 又は I.S.P-310 と PC を接続
PC と I.S.P-300 又は I.S.P-310 を、**1 台だけ** USB-mini-B ケーブルで接続し、I.S.P 本体の電源を ON します。
- アップデートプログラム起動
「スタート」→「プログラム」→「KYOEI」から「ISP3UPDT_ver4」を選択すると、Version4.xx~用のアップdaterが起動します。



5.2.2.1 アップデート準備

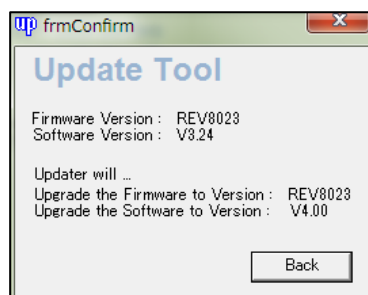
Legacy-CPU をプログラムする場合には Legacy バージョンのソフトウェアが必要になります。Legacy-CPU に分類される CPU 品種は、最新の接続表をご確認ください。

Legacy バージョンのソフトウェアにアップデートする場合は、下図のチェックボックスにチェックを入れてください。チェックボックスにチェックが無い場合は、ホストプログラムに対応したソフトウェアにアップデートされます。

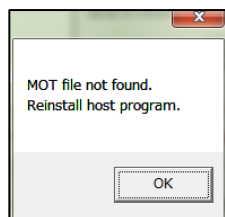


5.2.2.2 バージョンの確認

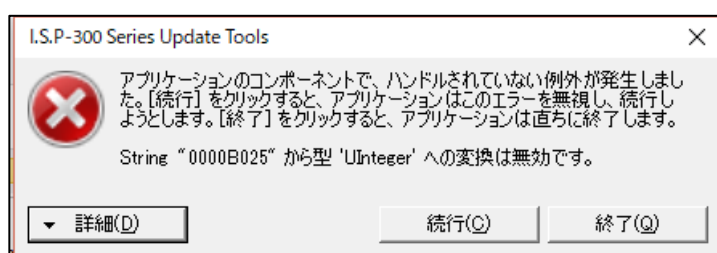
「Check Version and Revision」ボタンで、本体の現在のバージョンとアップデート後のバージョンを確認してください。



上図のバージョン確認画面が表示されなかったり、下図のようなダイアログが表示される場合はホストプログラムをインストールし直してください。



バージョン確認できない時は

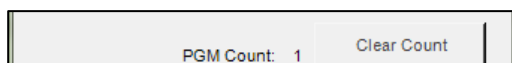


V4.00~4.21x のホストプログラムでは、本体にインストール済みのファームウェアのリビジョンによっては、アップデートできない場合があります。

上図のようなダイアログが表示された場合は、V4.22a 以降のホストプログラムでアップデートしてください。

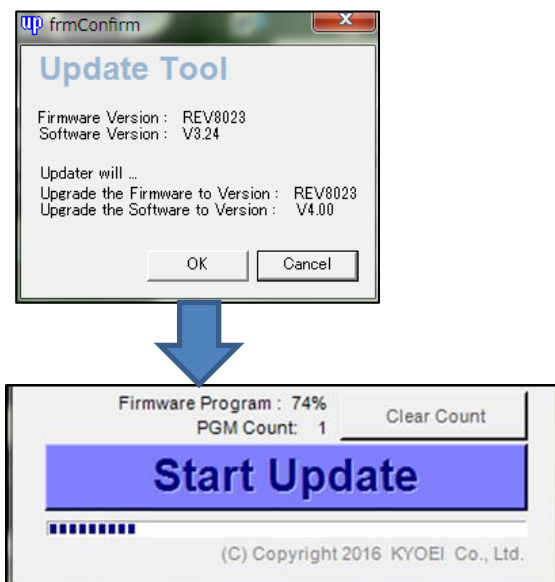
5.2.2.3 カウンタの確認

アップデートが完了した回数が表示されています。回数は「Clear Count」で 0 に戻ります。



5.2.2.4 I.S.P-300 シリーズ本体のアップデート開始

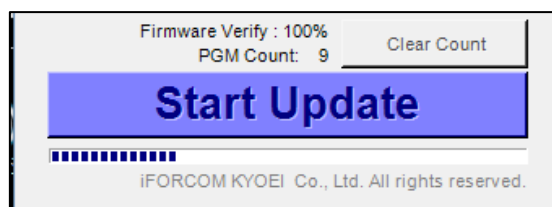
準備が完了したら「Start Update」ボタンを押してください。本体の現在のバージョンとアップデート後のバージョンを確認すると、アップデートを開始します。※アップデートが開始しない場合、「バージョン確認できない時は」もご参照ください。



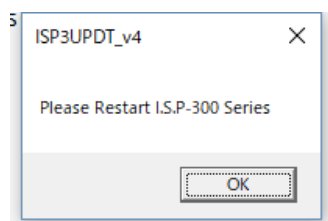
※アップデート中はUSBケーブルの抜き差しや本体の電源 OFF を絶対にしないでください。I.S.P 本体が起動しなくなる場合があります。もし本体が起動しなくなった時には弊社サポートまでご連絡下さい。 URL <https://k-kyoei.jp>

※I.S.P 本体画面が点滅する場合がありますが、そのままお待ちください。

※30 秒程度、進捗が止まったように見える場合(下図)がありますが、本体内部ではアップデートが行われています。そのままお待ちください。



アップデートが終了すると、下図のようなウィンドウが表示されます。



これで I.S.P 本体のアップデートが完了致しました。本体の電源を再投入して下さい。

起動すると、最初の画面にアップデートしたバージョンで I.S.P-300(又は I.S.P-310) V**.**と表示されます。

注意：アップデート後は必ずメモリチェックを行ってください。

I.S.P 本体への転送が行えなくなる可能性(Flash Memory Error)があります。
また、アップデートで機能追加をした場合、本体の設定が変更になる場合がありますので、アップデート後にメモリテストを行わない場合は、ホストプログラムから本体設定を再設定して下さい。

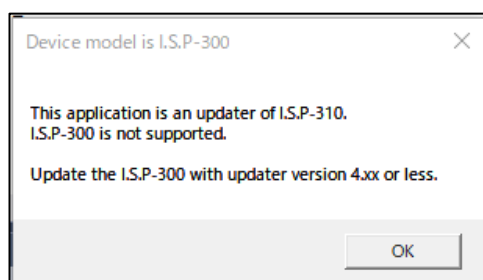
5.2.3 V5.00～

5.2.3.1 V5.00～の制限事項 1

V5.00 以降のアップデータでは、I.S.P-300 のサポートをしておりません。I.S.P-310 のみサポートしております。

I.S.P-300 は、V4.xx までのアップデータでアップデートを行ってください。

V5.00 以降のアップデータで I.S.P-300 のアップデートをしようとすると、以下のような画面が表示されます。



5.2.3.2 V5.00～の制限事項 2

V5.00 以降のアップデータでは、V2.31 より前のバージョンからのアップデートが正常に終了しない場合があります。

V2.31 より前のバージョンから V5.00 以降にアップデートされたい場合、一旦 V4.xx まで (例：V4.22a) のアップデータで V2.31 以降のバージョンにアップデートを行ってください。そのうえで V2.31 以降のバージョンになった I.S.P を V5.00 以降にアップデートしてください。

V5.00 以降のアップデータで V2.31 より前のバージョンからアップデートをした場合、途中でアップデートがとまってしまい、回復しない場合があります。その場合、サポートへお問い合わせください。

5.2.3.3 手順

● I.S.P-310 と PC を接続

PC と I.S.P-310 を、**1 台だけ USB-mini-B** ケーブルで接続し、I.S.P 本体の電源を ON します。

V5.00 以降のアップデータの使用方法は、V4.xx と同様です。

「5.2.2 V4.xx」をご参照ください。

5.2.4 メモリチェック

I.S.P 本体を、[FUNC]+[PROG]キーを押しながら電源 ON すると、TEST mode 画面となります。

[PROG]キーを 2 秒ほど連続して押し続けると、メモリチェックが開始されます。

Erase → WRITE TEST 0 → READ TEST →
Erase → WRITE TEST 1 → READ TEST →
Erase → WRITE TEST 2 → READ TEST → Erase → Complete!!

メモリチェックの実行には、約 10 分程度掛かります。

6 改訂履歴

日付:

2024/02/22

変更内容:

改訂

V5.42a~のインストーラファイルについての項を新設

「4.2.3 V.5.42a~」

I.S.P-300 series アップデートの手引き

31 - 159 - 8040

発行日

2024 年 04 月 22 日

著者発行所

アイフォーコム京栄 株式会社

〒186-0011 東京都国立市谷保5826-1

TEL 042-577-3955

FAX 042-580-7222

Mail kyoei@iforcom.jp

URL <https://k-kyoei.jp>

- 本器又は本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
あらかじめご了承下さい。
- 尚、本書に記載されたデータ、回路の使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 本書にある商品名、名称などは、各社の商標または登録商標です。